

3 避難について

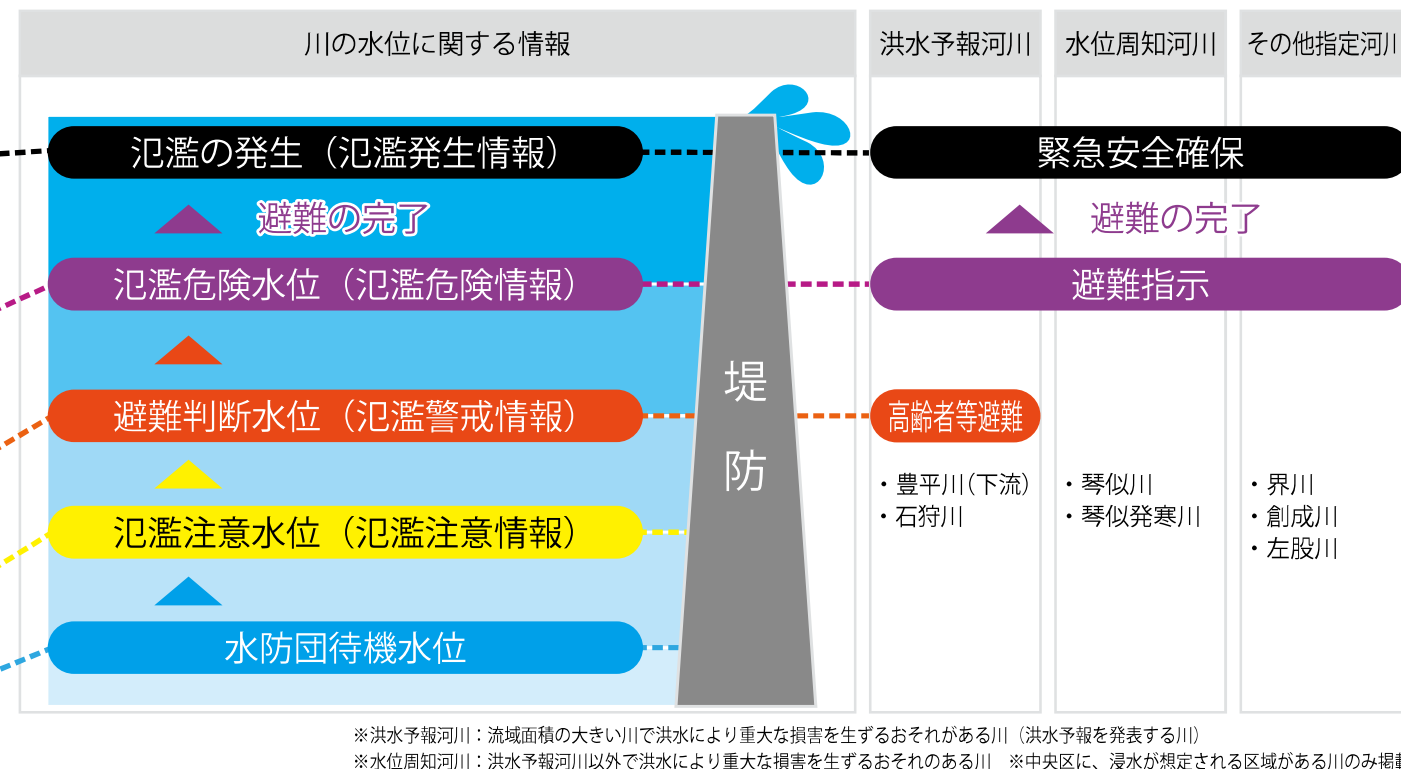
避難情報

災害の危険が迫った際は、札幌市から対象の地域に避難を呼びかけます。
避難指示（警戒レベル4）までに必ず避難してください。

警戒レベル	避難情報等	住民が取るべき行動
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！ ●すでに安全な避難ができず命が危険な状況。直ちに身の安全を確保。 ●必ず発令されるわけではないため、発令を待たない。
避難指示（警戒レベル4）までに必ず避難!!		
4	避難指示	危険な場所から全員避難 ●指定緊急避難場所（P21を確認）や親戚・知人宅などの安全な場所に全員避難。
3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 ●高齢者や障がいのある方は、できるだけ早めに避難。 ●その他の方も必要に応じて避難の準備。
2	大雨・洪水注意報	自らの避難行動を確認
1	早期注意情報	災害への心構えを高める

川の水位に関する情報

川の水位に関する情報を参考に、指定緊急避難場所の開設状況をご確認の上、自主的な避難も検討してください。
なお、川の水位情報が発表されたことに伴い、必ず避難指示などが発令されるわけではありません。



避難の方法を事前に確認

自宅などの危険度を避難地図（P3～P16）で把握し、避難の方法を確認しましょう。安全な場所にいる方は、在宅避難を検討してください。（P22 わが家の防災メモ で確認できます。）

▶自宅が安全な場合は在宅避難

次の3つを満たす場合は在宅避難を検討してください。

- 1) 浸水の深さより居室が高い。
- 2) 家屋倒壊等氾濫想定区域（ 氾濫流 河岸侵食）に入っていない。
- 3) 土砂災害警戒区域（）に入っていない。

◎最低3日分の食料品・飲料水やランタン、乾電池などの備蓄品を用意しましょう。



▶安全な地域の親戚・知人宅へ避難

緊急時に避難してよいか事前に相談しておきましょう。安全な地域に住んでいる方は、受け入れの検討をお願いします。



▶安全が確保できないときは指定緊急避難場所へ避難

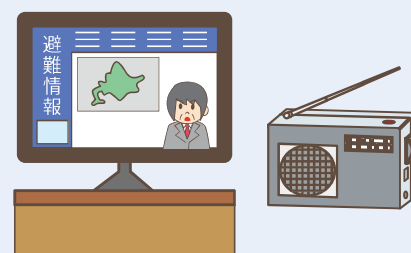
危険な地域にいて難を逃れる手段がない方は、ためらわずに指定緊急避難場所（）へ避難してください。避難所の開設状況は、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認できます。（P18、P23を確認）



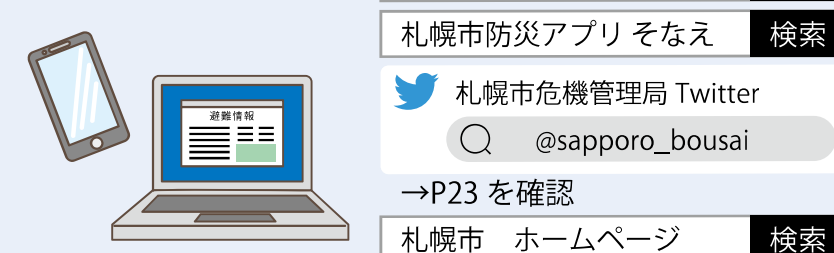
情報を知る手段

川の水位や気象、土砂災害、避難などに関する情報は、テレビやラジオ、インターネットで確認できます。

▶テレビ・ラジオ



▶インターネット



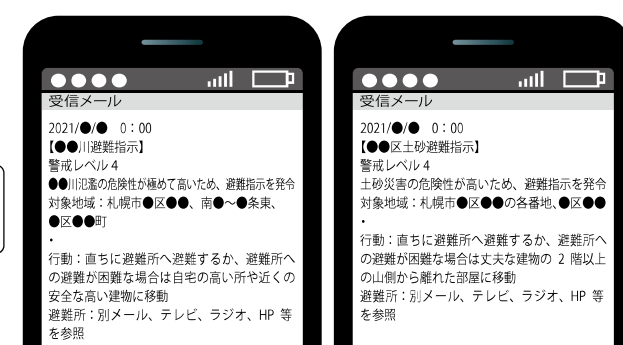
札幌市からの避難情報は緊急速報メールでもお知らせします

緊急速報メールには文字数制限があるため、避難区域の概要のみをお知らせします。
該当区域の方は、テレビ、ラジオ、市のホームページなどで詳細な住所を確認してください。

▶洪水・土砂災害
「住所」、「町名」、「連合町内会」のいずれかで表示

避難情報発令区域の詳細、避難所開設状況は、札幌市ホームページ、さっぽろ防災ポータル、札幌市防災アプリ そなえ で確認できます。

緊急速報メールの受信設定や対応機種については、各携帯電話会社へご確認ください。



↑洪水時の例（町名表示）

↑土砂災害時の例（町名表示）